

従軍慰安婦問題の日韓合意に関するリスト実験結果の報告

秦 正樹*
Jaehyun Song†

1. 分析の目的

周知の通り、いわゆる「従軍慰安婦」問題の解決に向けた外相会談が 28 日に行われ、一定の合意に達した。今回の協議では、大きくわけて「安倍首相からのおわびと反省」「心の癒やしのための事業支援」「最終的かつ不可逆的な解決」の 3 つの論点について合意が交わされた‡。慰安婦問題は、とりわけ近年の日韓関係悪化の大きな原因の一つでもあっただけに、今回の合意は両国間の関係修復に繋がるとアメリカを始め諸外国より期待されている。

その一方で、今回の合意について、ネット上の世論には賛否両論がある。たとえば、「近い将来また慰安婦問題を蒸し返してくるのではないか」「韓国は（慰安婦像の撤去など）合意事項を履行しないのではないか」§といった懐疑的な意見も数多く見受けられる。こうした懐疑的な視点は、相手国である韓国国内でも散見される。たとえば合意直後より韓国では、「韓 ‘위안부 민심잡기’ 총력... 日, 벌써 탄소리」(韓国“慰安婦”世論説得に総力...日本, 早くも掌返し)**といった意見がある。

では、日本人は今回の合意によって、慰安婦問題が「最終的かつ不可逆的に」解決したと考えているのだろうか。この点を分析するため、筆者らは 2015 年 12 月 29 日より、Yahoo!クラウドソーシングのパネル回答者（18 才以上）1183 名を対象に調査を行った。また今回の分析では、ネット上で見られる「韓国側の不履行」「韓国が蒸し返してくる」といった言説への同意の程度に注目して、リスト実験 (List Experimental method) を行った。今回の合意に関する報道は、(一部を除いて) 好意的に伝えるものが多いこともあり、「韓国側の不履行」や「蒸し返してくる」といった意見は一般的に見えにくいのではないかと考えて、リスト実験を用いた††。

2. 実験デザイン

本実験は、次ページに示すデザインによって実施した。最初はリード文としてこの問題に関する簡単な経緯を述べた後、いくつかの賛否の意見を提示して、それに同意する意見の内容ではなく数を尋ねた。その後、コンピュータで無作為配分を行うことで、回答者は 4 つの実験群のいずれかの選択肢画面を表示される。(ランダムに振り分けた結果) 統制群にあたった被験者は表 1 の 3 選択肢が、処置群 1～3 にあたった被験者は、統制群と同様の 3 選択肢+【実験情報となる選択肢】の 4 つが提示される。具体的にそれぞれ説明を加える。いわゆる「統制群」は、表 1 に示す 3 選択肢が用意される。処置群 1 は、統制群の質問に加えて、「この合意を韓国側がキチンと履行するとは思えない。」との意見を、処置群 2 は、「この合意を日本側がキチンと履行するとは思えない。」との意見を、処置群 3 は「この合意をしても、いずれ韓国は蒸し返してくると思う。」との意見を加えた。

仮に、処置群 1～3 で加えた意見に世論が同意しなければ「賛同意見数」の平均値について、統制群と処置群の間で差は生じない。逆に、3 処置群で示した意見に世論が同意すれば、平均値は高まるだろう。

* (公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 主任研究員・神戸大学大学院法学研究科 博士課程後期課程

† 神戸大学大学院法学研究科 博士課程後期課程

‡ http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/na/kr/page4_001667.html (外務省 WEB ページ, 最終閲覧日 2015/12/30)

§ 「日韓合意 韓国紙、蒸し返し可能性示唆」(産経新聞 2015 年 12 月 30 日)

** <http://news.donga.com/3/all/20151230/75640122/1> (東亜日報, 2015 年 12 月 30 日)

†† リスト実験の方法については、飯田健 (2014) 「悪い経済状態にもかかわらずなぜオバマが勝ったのか: Waseda American Voter Survey 2012 の分析」吉野孝・前嶋和弘『オバマ後のアメリカ政治』第 4 章, 97-122 頁に詳しい。

表 1 実験デザインの内容

【共通】

日韓両国は 28 日、従軍慰安婦問題をめぐる交渉のための外相協議において、この問題が「最終的かつ不可逆的に」解決されたことを確認しました。

具体的な内容としては、「日本政府は慰安婦問題に関して責任を痛感していること」「10 億円規模の心の癒やしのための事業を行うこと」「今後、国際社会で互いに非難・批判しないこと」の 3 点に合意しました。

この妥結については、ネット上をはじめ、賛否に関するさまざまな意見がみられます。

今回の合意に関する以下の意見のうち、あなた自身のご意見と近いものはどれくらいあるでしょうか。

ご意見の内容ではなく、数をお答えください。

【統制群】

- ・ 今回の合意によって、日韓関係は今後よくなると思う。
- ・ この合意は、日韓ともに歩み寄った内容だと思う。
- ・ このような合意をすることは、安倍政権に失望した。

【処置群 1】

- ・ この合意を韓国側がキチンと履行するとは思えない。

【処置群 2】

- ・ この合意を日本側がキチンと履行するとは思えない。

【処置群 3】

- ・ この合意をしても、いずれ韓国は蒸し返してくると思う。

3. 実験結果

実験結果は、図 1 に示すとおりである^{**}。分散分析および平均値の差の検定 (Scheff 法) の結果、処置群 1~3 とともにすべて統計的に有意な結果が得られた。ただし、処置群ごとで効果量が大きく異なる。処置群 1 および処置群 3 は、統制群に比べてそれぞれ、0.63・0.57 とかなり高い割合でその賛意を示しているのに対して、処置群 2 は 0.25 とやや低い値を示している。

この結果は、今回の合意がうまくいくかについて、日本よりも韓国の正確な履行によると考えている日本人 (正確には Yahoo!クラウドソーシングの登録者) がかなり多いことを示唆している。加えて、この合意を韓国側が (将来的に) 反故にする可能性があると考えた人々も相当多く存在することも明らかとなった。

^{**} 不良回答者 (Satisficer) は、他の質問を利用して排除している。サンプル全体の 14.1%であった。除去方法の詳細はここでは割愛する。

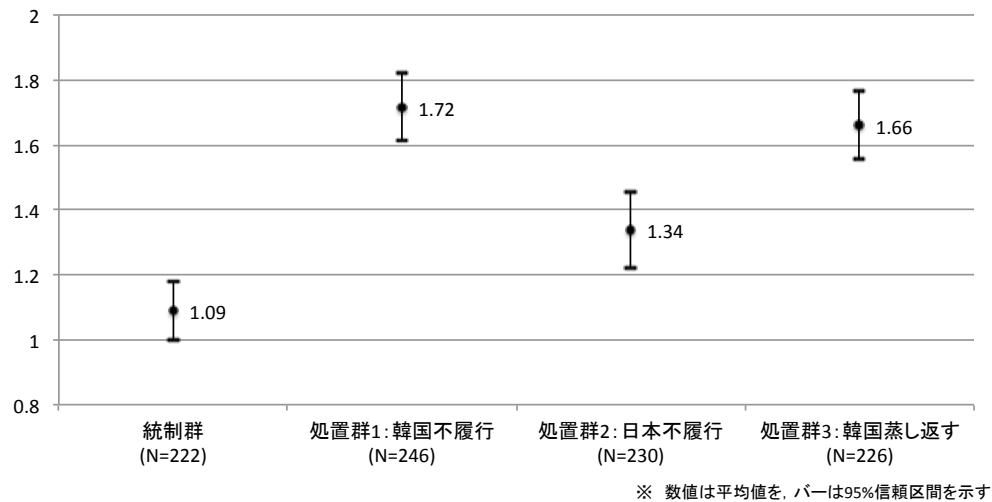


図1 リスト実験の分析結果

【追加の分析】

- 韓国感情温度 (Mean= 21.91, SD= 21.59) を 50 度 (中立; 左下), 50 度以下 (感情: 悪; 右上), 50 度以上 (感情良; 左上) と 3 つに分類した結果. 日本に責任を感じるのは感情: 良集団に限定される.

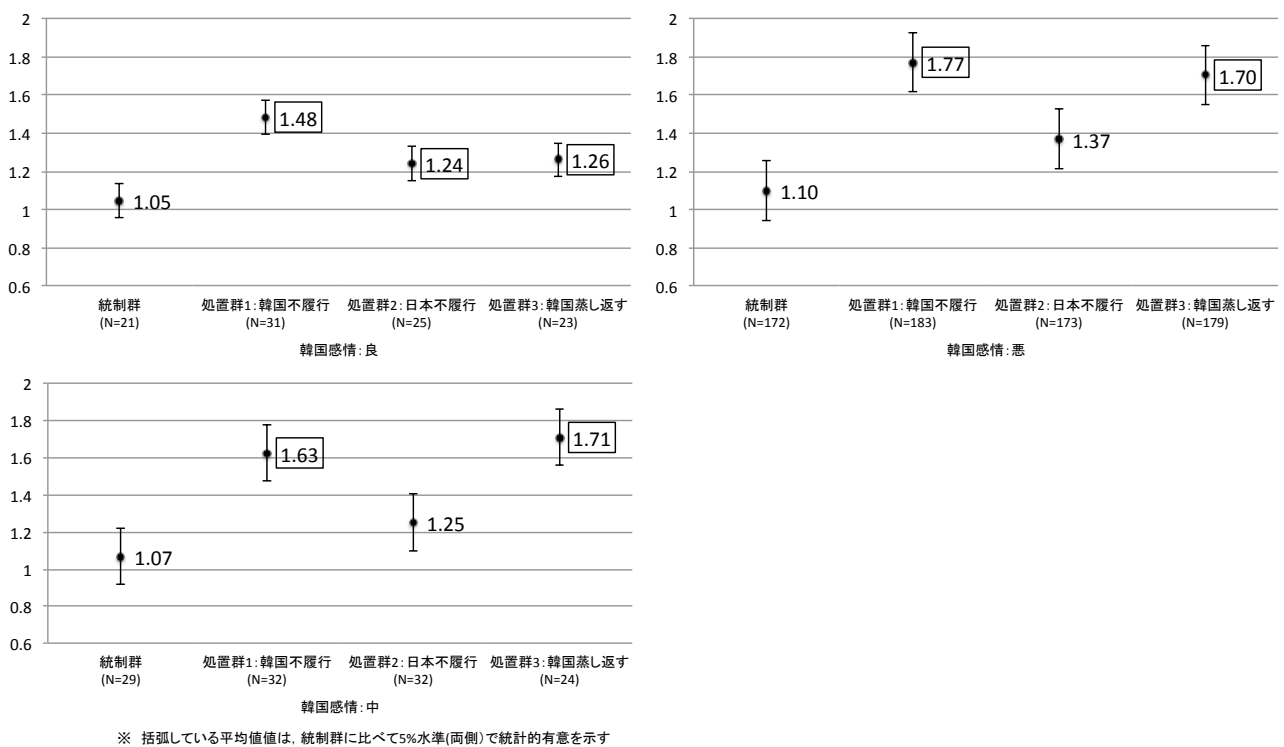


図2 韓国感情ごとのリスト実験の分析結果

※ 今後さらに詳しい分析を進めていくものであり、この研究成果はあくまで速報であることをご理解ください。